

令和5年度 自己評価・学校関係者評価報告書

1. 学園の教育目標及び目指す園児像

教育目標:

心豊かに たくましく生きる

目指す園児像:

- 友達と元気に遊べる子ども
- 動植物に親しみをもち、情操豊かな子ども
- 心身ともに健康で頑張りぬく子ども
- ものごとを自主的、創造的に考えていく子ども

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ◎遊びや生活の中で、様々な環境と関わり、豊かな体験を通して、「知識及び理解の基礎」、「思考力・判断力・表現力の基礎」、「学びに向かう力、人間性等」の資質・能力が育まれるようにする。
- ◎5領域10姿がみられるよう、幼児の内面の成長につながる体験の質を高めるために、金融教育を遊びの中に取り入れていく。
- ◎保育の記録として園のようすについての配信を積極的に行い、保育内容の理解を促進する。
※本年は東京都金融広報委員会より2年間の金融教育研究委嘱を受けての2年目にあたるため、昨年度と同じ目標、計画となっている。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	決まりを意識して園生活を送れるように、みんなが気持ちよく過ごすために必要なことを幼児自身が考える機会や場面を作る。	B	決まりが何のためにあるのか考えたり、話し合ったりする時間を設定し、幼児が自主的に決まりを守ることができるよう取り組んだ。
2	試す、工夫する、やり遂げる経験を積み重ねられるよう、教材教具を選定し、幼児の実態に合わせたコーナーの設定や教材提示を行う。	B	金融教育の実践に際して、幼児の興味や実態に合わせた教材を提示し、幼児が意欲を持って取り組めるよう工夫した。
3	教師や友達の考えに触れる機会を意図的に作り、自分と異なる考えがあることへの気付き、判断したり、考え直したりする経験を通して、自らの考えが広がる面白さを感じられるようにする。	B	本年度も朝の会や帰りの会で、幼児に話をする機会を設定し、コミュニケーションを活性化させた。また話し合い活動を日常的に行うことで、友達の考えに触れる経験を充実させた。
4	保護者が園と共に幼児を育てる気持ちを持ち、保護者と連携する。	B	年間を通してドキュメンテーションを配信することで、保育者や保護者が保育の振り返りを行えるよう取り組んだ。

評価基準 (A:大きな成果があった、B:成果があった、C:あまり成果がなかった、D:成果がなかった)

4. 総合的な評価計画

評価	理由
B	継続した重点目標・計画であったので、全体的に職員の自己評価は高くなったが、4段階では前年と同じ「B」となった。金融教育研究という体系に基づいた保育を行ったことで、目的意識がはっきりとした保育を行うことができた。また、ドキュメンテーションによる情報発信を2年にわたり続けてきたことで、内容が充実し、保育の振り返りに大いに役立った。

評価基準（A：大きな成果があった、B：成果があった、C：あまり成果がなかった、D：成果がなかった）

<参考>

私立幼稚園教育水準向上支援事業費補助金を受けたドキュメンテーション取組の実施報告
ドキュメンテーション配信数 475回（令和5年4月1日～令和6年3月31日）
ドキュメンテーション閲覧数 のべ 38,042view（令和6年4月1日現在）

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	環境整備	新園舎となり2年目を迎え、クラス編成にも変更が生じることから、ハード面とソフト面のバランスを取りながら最適な保育環境の構築を模索する。
2	安全管理	各種感染症の流行がコロナ禍以前よりも大きな波として現れるようになったので、日々の感染症対策を徹底する。

6. 学校関係者（保護者）による評価（令和6年1月11日運営委員会にて評価実施）

家庭で子供の成長を感じる事が多く、園での活動がそれに結びついていることが、ドキュメンテーションを通じて知ることができた。子供と園での出来事を話すことも多くなり、コミュニケーションの一助ともなっている。今後も取り組みを継続し、さらに定期的な配信があるとなおよい。